

JARL
倉敷クラブ報

第242号

2002年10月12日(土)



JARL登録 倉敷クラブ (登録 31-1-1)

クラブ局 JA4YAB

クラブ代表者 若林広征 (JH4GNE)

〒710-0814 倉敷市石見町2-30 ☎086-425-3355
URL <http://mxl.tiki.ne.jp/~jg4bcg/ja4yab.htm>

目 次

はじめに	JH4GNE	1
JA4YAB AWARD VIEWS	JA4XZR	2
ハムフェア2002見学記	JA4KI	4
秋の移動	JG4BCG	8
CQ Local	JH4EOV	9
お知らせ		9

次回定例MEETINGのお知らせ

日 時： 平成14年12月14日（土）18時30分～20時30分

場 所： 市内白楽町 倉敷商工会議所（駐車場有り）

[当日 入口の案内板にて会場をご確認下さい]

次回以降の定例MEETING 予定月/日, 03/2/8, 4/12, 6/14

倉敷クラブ管理レピーター局

J R 4 W H 439.76MHZ (運用責任者：JH4EOO)

J P 4 Y C K 1292.58MHZ (運用責任者：JA4AXM)

倉敷クラブ役員

会長 (代表者) JH4GNE	アワード担当 JA4XZR
副 会 長 JI4GAU	クラブ報担当 JA4AJB
庶 務 担 当 JH4EOV	クラブ報担当 JH4EOO
会 計 担 当 JH4DDG	ミーティング担当 JR4BXK
会 計 監 査 JA4KI	ミーティング担当 JG4BCG

クラブ報の原稿は奇数月末までになるべく早めにお送りください
なお、1ページ分の大きさは表紙の外枠の寸法内に収めてください

クラブ報担当：JA4AJB, JH4EOO

クラブ報の配布はミーティングにご出席者各位お持ち帰りを原則
としておりますので、ミーティング欠席の場合には代理で受け取
る方へご依頼下されませうお願いします。



J A 4 Y A B A W A R D V I E W S

 de JA4XZR

【Busan Asian Games Award】

この原稿を書いています9月29日、韓国プサンでアジアのOCA加盟44の国や地域から、選手を集めての、第14回アジア競技大会が開幕しました。

「JARL NEWS 9・10合併号」で紹介されたのでご承知と思いますが「KARL」の「Busan支部」からアワードが発行されます。

今日現在、一番上のゴールド級が申請できる条件の交信は完了し、申請書は書き上げていますが、申請受付が10月18日なので待機状態です。

【CONTEST】

9月は毎年コンテストの多い月で、今年も時間が許すかぎり参加するようにしましたが、宮仕えの身なのでビジネス優先になるのと、敬老の日？やお彼岸の墓参などの行事もあり、思うように成果が上がらず、毎度のことながらいささか消化不良です。9月に参加したコンテストを参考までに報告いたします。

《第43回 ALL ASIAN DXコンテスト Ph》 9月7日～9日

[7MHz A3J] 12局 7マルチ

[21MHz A3J] 70局 29マルチ

[28MHz A3J] 9局 7マルチ

[合 計] 91局 43マルチ

《ヨーロッパ DXコンテストSSB》 9月14日～16日

《第32回XPO記念コンテスト》 9月15日

《オール秋田コンテスト》 9月21日～22日

《スカンジナビア コンテスト CW》 9月21日～22日

《スカンジナビア コンテスト Ph》 9月28日～29日

《JLRS 第31回パーティーコンテスト 電話》 9月28日～29日

【移動ミーティング 石見路紀行】9月23日参加者14名
倉敷クラブの春秋の移動ミーティングもすっかり恒例行事となり、今秋の目的地は
《来てみんない 浜田へ》でお馴染みの『しまね海洋館 アクアス』である。

ミーティング担当の方は行く先を決めたり、車の手配など大変だが我々は毎回、気楽に
参加できるので有り難い。最近では浜田自動車道が開通したので、山陰の西部へも短時間
で行くことができるし、道路の渋滞がないのがなによりである。

玉島I.C 08:00 途中 小谷S.A・安佐S.Aで休憩したが、3時間弱で浜田I.Cに到着
10:43 そこから9号線を江津方面へ8km・10分で『AQUAS』である。

浜田へは3年前に会議で出張したことがあるが、その時には『アクアスランド』はまだ
誕生していなかったのが今日のツアーを楽しみにしていた。

テーマパークはやりの昨今だが、この『AQUAS』を含むゾーンはユニークな
もので集客率も高いらしい。シロイルカやアシカ、アザラシのパフォーマンスを童心
に戻って楽しむことができる。そして約500種、1万点の海の生物を展示する大規模
な水族館である。映像やタッチパネルで海の生物を楽しく学べる。

イベントステージで、日頃我々が見慣れている『備中神楽』とは若干趣が異なる石見
地方の伝統芸能『石見神楽』を鑑賞することができたのも予期せぬ収穫だった。

今回の浜田での、もう一つの観光スポットは、1600万年前の世界がよみがえる
『石見畳ヶ浦』である。ここは「みる・ふれる・かんじる天然の博物館」である。

海に突出した標高約50mの丘陵の先端に位置する畳ヶ浦には、波によって侵食され
約25mの海食崖と呼ばれる切り立った崖と、約49,000m²に及ぶ波食棚と呼ば
れる平な磯が広がっている。

明治5年の浜田沖地震によって海底が1.5mも隆起してできたと伝えられる、地上
で見る海底の標本である特異な風景には、何回見ても驚ろかされる。

ここは国の天然記念物に指定されている名所だが穴場であって案外知られていない。
案内して参加者に喜んでもらえた。今回の仲間でも浜田へは行ったことがあっても知
らなかつた—と言う方も居られた。休日だけ奉仕しているという「浜田市観光ボラン
ティアガイドの会」の藤井副会長が丁寧に説明をして下さったのでよく理解できた。

最後に『しまねお魚センター』へ寄って、とれたての日本海の幸や、水産加工品を
買い求めることが出来、昼の「石見そば」とともに食べる方も大満足の日だった。

今日は特別な思いで日本海に佇んだ。瀬戸内海と違い秋日和の晴天でも風は強く波
は高い。今、話題になっている北朝鮮への日本人拉致事件に思いをはせて感慨無量で
ある。明るい北の海に向かいながら心が重いのはなぜだろう。

北の国で逝った若者への追悼の気持ちがそうさせるのだろうか。

楽しかった一日だったが— その中で一瞬よぎった悲しみのひとときだった。

昨年のハムフェア2001は、防災の日の9月1日を含めた開催ということで、8月31日(金)～9月2日(日)に開催された。そのために、8月31日は勤務先での会議、9月1日は二学期の始業式と重なり、ついに見学できなかった。

学校の生徒は夏休みの宿題、その父母は宿題の相手でQR Lのときで、それらが終わった9月2日(日)一日のみの見学可能日では、他に都合があったりして見学できなかった人達も多かったのではないと思う。私の記憶では、8月の月遅れの盆のすぐ後からという年があって、帰省客の都会へのUターンのQR Mで、苦勞して見学したこともあったが、地方に住んでいる者にとっては、8月20日～25日あたりが一番ありがたい。

今年は、期間が一日短縮されて、8月24日(土)～25日(日)の二日間のみで、東京ビッグサイトでの開催ということであったので、早くから計画を立てて、見学することにした。

当日は、東京都内にある私たちの共済の施設で目ざめた。昨夜は雨で、一時的にはかなりの雨量だった。10Fの窓から外を見ると、雨は降っていないようだが、もやがかかっており好天ではなかった。ゆっくり支度をして、8時半頃チェックアウトし、最寄り駅から電車に乗り東京駅で下車し、八重洲口にある都バス乗場へ向かった。天候は良くなった。

東京ビッグサイト方面行きの乗場には、すでに20人くらいが並んでおり、最後尾について並んだ。間もなくバスが来て列が動き始めたが、行先表示を見ると、豊洲行きとなっていてこのバスではない。私の前の数人が、そのバスへ乗車したので、列が少し短くなった。豊洲行きが発発したあと、8時55分ころに東京ビッグサイト行きのバスが入ってきたので、料金箱へ200円入れて乗車した。8時58分に出発したが、急行バスでかなりのQR Mだった。途中での乗降はほとんどなく、9時35分ころ東京ビッグサイトの降車場へ到着した。

東京ビッグサイトへは、ハムフェア'98に来たとき以来だが、今回は、案内の立て看板の様子からすると、'98のときの1Fではなく、2Fが会場になっているようで、長いエスカレーターで2Fへ上がった。入り口前には、入場者が並んで待つためのジグザグの垣(hi)が作られており、すでにかかなりの人が並んでいた。今までのハムフェアには、こんなに多くの人が出たことはなかったが、初日が金曜日だったからで、今年は、初日が土曜日のために人出が多くなったのだろうと思った。

入口前の多くの人の中を通り抜けて発券所へ並び、入場券を入手した。すぐ入場者の列の最後尾へ並べば、早く入れるのだろうが、間もなく始まる開会式の模様を写真に撮りたいし、今までの経験では、入場開始後数分で列がなくなることが分かっていたので、列に並ばずに、開会式が行われる様子が見える位置のベンチに座って、入場券にコールサインと氏名を記入して待つことにした。入場者の列はどんどん長くなってゆく。

私の前の行列に並んでいる人を見ると、ガイドブックを見ながら入場を待っている。パシフィコ横浜でのハムフェア'00のときにも、この光景が見られたので、係員に尋ねたら、「ガイドブックは入場してからです」と言われて、キツネにつままれたままだったので、今年はどうなっているのか?と目をこらしたら、私の座っているベンチのすぐ横の行列の最後尾で、二人のYLがガイドブックを配っていたので、声をかけてガイドブックをもらった。なるほど、今年の入場券には、ガイドブックの引換券が付いていなかった。

ガイドブックによれば、ハムフェア2002は、東京ビッグサイトの西3ホールと西4ホールを使って行われており、四つのコーナーに分けられている。

Aブロックは、JARLコーナーで、A-01～A-13まで16のコーナーがある。

Bブロックは、ビジネスコーナーで、B-01～B-30まで30のコーナーと、飲食物を扱う2つのFOODコーナーがある。

Cブロックは、クラブコーナーで、純粋展示・発表コーナーがCJ-01～CJ-34まで33のコーナーがある。一般展示コーナーは、C-001からC-139まで138のコーナーがある。

DブロックはJAIAコーナーで、11のJAIAのメーカーの中から、3社が出展している。

このほか、同じ建物の中で、JARDが、四アマ技士の臨時国試と、四アマ有資格者が三アマになるための移行コース用の選抜試験、それにJARLのモルルス電信技能認定が行われる。

JAIAYC氏の司会で開会式が始まった。JAIAN会長の挨拶の後来賓の紹介が行われたが、外国からの来賓が例年になく多く見られた。続いてテープカットが行われ、入場口の整理の後、10時少し前から入場が始まった。

入場が始まって、数分と経たないうちに列はなくなり、私も入場した。入口のすぐ左のインフォメーションセンターで、ガイドブックにスタンプを押した。昨年までは、このスタンプ五年(回)分を集めると、記念品がもらえたが、今年からなくなった。しかし、昨年までのスタンプは、一つでも記念品がもらえることになっており、今日は、過去三年分のガイドブックを持ってきている。記念品は、以前はペンスタンドだったが、今年は何かわからず、もし大きくて重いものだったら、婦りにもらった方が楽hiなのと、ガイドブックをもらう多くの入場者で、カウンターが見えないくらい混雑していたので、記念品の引換は後にした。

JARL NEWSへ、JARLカードを持っている人が参加できる抽選応募券がついていたので、その券を提出しようと、JARL関係のブースを歩き回ったが、よく注意して見ていないらしく分からない。仕方なく先ほどのインフォメーションへ戻って尋ねて、JARLデスクのJARLカードカウンターにあった投入箱へ、JARLカードを呈示して抽選応募券を投入した。JARLデスクのDXCC申請受付場所では、元専務理事のJA1DM氏が、申告のチェックを黙々と行っておられた。

私のQSL転送手数料の件で、以前会員課へFAXしたのだが、無返信なので会員課の人に尋ねてみたいと思い、そのコーナーへ行った。ところが、コーナーの中はYLが二人で、私が顔を知っているJARLの職員は一人も居ない。すでに代替わりして、私が知っている職員は退職されたのだろうか？そうであれば、事の次第を説明するのが大変なのと、カウンターが混雑しているのとで、邪魔をしてはNGと、尋ねるのを諦めた。歩いている途中で、お互いによく知っている、JARL森研究所長に会って、挨拶は交わしたがこの件は尋ねても担当外だと思って尋ねなかった。

次に、JARLの販売品を買って帰れば、郵送してもらわなくて済むので、送料が助かると、販売品コーナーを探したが、毎年あった販売品コーナーがない。調べると、今年はCQ出版のコーナーでJARL販売品を販売することになっていたもので、CQ出版のコーナーへ行ったところ、かなり多くの係の人が、コーナーの中を走り回っているくらい、多くの客が取り巻いていた。私が買いたい物はかなりの量が積んであったので、売り切れる心配はないものと思い、後から買うことにした。

持ってきた144～1200MHzのハンディトランシーバで聞いてみると、特別記念局の8N1

HAMが出ていたので、1041～1131の間に、JA4KI/1とJA1BRP/1で、各バンドでQSOした。ハムフェアの特別記念局は、8J1HAMだとばかり思い込んでいたが、8N1HAMとのQSOは初めてだった。

J A I Aコーナーは、今年は3社のみの出展で、アイコム・ケンウッド・第一電波工業のみだった。あまり詳しく見ると悪い虫が起きてはNGなので、遠くから見ながら一回りした。今までのハムフェアで、見たことがなかったJ A I A販売コーナーというのがあったので、のぞいたところ、メーカーのロゴの入ったTシャツや、携帯電話のストラップなどが販売されていた。以前はこの類の物は、メーカーや販売店のイベントのときなどに、無料配布されていた物のような気がしたが、やはりJ A I Aも不景気なのだろう。J A I Aの出展がたった3社で、われわれがよく知っている大手のメーカーの何社かが、J A I Aから抜けたというのも、不景気と無関係ではなさそうに思われた。

J A I Aから抜けた大手のメーカーのブースも、悪い虫が起きないように、遠くからながめて通った。すぐ隣が、JARLのリサイクルコーナーだったので、立ち寄ってみたが、多くの人で、ショーケースをのぞくのに苦勞する有様だった。私の現用の30万円近く出して購入したリグが、5万円以下で出ており、進歩の早さを嘆いて通り過ぎた。

ミズホ通信の高田社長にお目にかかり、少し言葉を交わしたが、ラジオ少年が少なくなって、ラジオパーツ関係の店が全国的に減少しているときに、いろいろと新しい企画を発表しておられる社長に敬意を表した。このブースを取り巻いている多くの人々は、どう見ても「元ラジオ少年」にしか見えなかったが、自作派HAMもまだかなり居ることがわかり、大いに安心した。

毎年ほしいなと思いつつながら、見るだけで立ち去る、アンテナのオートチューナーを扱っている業者のブースへ行ってみた。今年もそのチューナーがあり、ハムフェア特価で、CQ誌の広告で見る価格より10%位安くなっていた。しかしまだ20万円を超える値段のために、すぐには手が出ず、今年も見るだけで終わってしまった。

2年前にあったパシフィコ横浜でのハムフェアのときに、会場内で私を呼び止めて、サイン帳へ記帳してほしいと言った、JR1HHLさんのことを思い出した。彼は今年4月に病気のため他界したが、毎年のJARL総会では、必ずお目にかかっていたし、ハムフェアでは、いろいろとお手伝いされていて、よくお目にかかっていた。2年前の彼の言葉は、「私が死んだ後に、息子が、親父はどんな人達とつきあっていたのだろう、と思ったときに、このサイン帳を見てもらいたいの、何か書いてください。」と言ったが、彼は少し用意が良すぎたのではなかろうか。

家内に言わすと、私はまだ当分死ねないそうで、その理由は、新婚旅行の時の写真が、まだ整理されないままになっているから、と言うのである。私は今年の正月に、愚息夫婦が結婚写真を撮ってもらった写真屋へ、愚息夫婦の紹介で出かけ、「自分の葬式の時に使う写真を撮ってほしい」と言ったら、写真屋が、まじめに相手をしてくれなくて困ったが、これも当分死ねない証拠かも知れない。

クラブコーナーを見るために、西3ホールの方へ移動した。ここは、全体的に大変な人出で、各ブースを列毎にカメラに納めようとカメラを構えると、やたらに人が入って、各ブースが良く写らない。それでも何回かシャッターを切ったが、そのたびに光るストロボの光り方がどうも気になる。シャッターボタンを押すたびに、ストロボが2回発光しているような気がして、いつシャッターが切れたのかがよく分からない。そのうちにフィルム1本を撮り終えた。

11時半を過ぎたので、少し早いですが、早めに昼食をとっておいた方が混雑しなくて良からうと、昼食に出ることにしたが、その前に、予定していることだけは済ましておこうと、過去の3年分のハムフェアのスタンプのあるガイドブックを、インフォメーションセンターへ持参して、記念品をもらった。記念品は、局名録を昨年JARLへ予約して買ったときについてきたものと同じ、CQ・DXゾーン/バンドプラン下敷価格200円(税別)というもので、軽くて薄いものだったhi。次に、通路の反対側にあるCQ出版のブースへ行き、学校のクラブ局のクラブ員への土産を含めて、JARL NEWSの綴り表紙などを合計5千円弱買ったところ、不織布の大きなトートバックへ入れてくれて、3千円以上のお買い上げなので抽選をと、三角くじの入っている箱を持ってきてくれた。一枚取り出したら、開いて見てくれて、これが当たりましたとCDが8枚入るアルバム?をくれた。

昼食は、4年前にここ東京ビッグサイトで、ハムフェア'98に来たときに利用したレストランでとる事にして会場を出たが、'98はこの建物の1Fで行われており、今年2Fで行われているんだという事を強く意識しすぎたのか、レストランの位置を見失ってしまい、うろろうしていたら、今ビッグサイトへ到着されたばかりの様子、JA4AO氏に会って少し言葉を交わした。ようやくの事で探し当ててレストランへ入り、昼食をとったが、まだあまり混雑していなかった。食事の後、カメラの取説を取り出して読んでみると、家内から借りたカメラは、「赤目防止」という設定になっており、確かにストロボが二回光るようになっていたので、普通のストロボ発光にセットし直した。レストランを出るときには、入口にはこれから食事をとる人達の長い行列ができていた。

昼食の後、再び会場のCブロックのクラブコーナーへ戻った。しかし人出は昼前より増加しており、人気のブースには近付くことができない。いろいろなジャンク品を近くでよく見たいのだが、見たいところには、多くの人が居てよく見えない。仕方なく、全部のブースの前を通るだけにした。

帰りの列車は、東京発15時台のものをもってある。ずっと前に暗海でハムフェアをやっていたときに、暗海からJR有楽町駅まで、渋滞のためにバスで一時間以上かかって、予定の列車に乗れなかったことがあり、それ以来、充分余裕を見て会場を出る事になっている。そこで、13時には会場を出ることにした。しかし帰りのバスの時刻を調べていなかったもので、少し余裕を見て会場を出て、4番のバス乗り場へ行った。10人くらいの人が並んでいたもので、多分間もなくバスが来るだろうとその列に並んだが、列は次第に長くなり、最初の三倍くらいの長さになって、30分位経ったときにバスが来て、13時少し前に発車した。朝は急行だったが帰りは各停で、朝乗車した東京駅八重洲口の乗場へは、13時40分過ぎに到着した。東京駅からは、予定どおりの列車で、19時半頃に自宅へ無事帰着し、20回目のハムフェア見学は幕となった。

このところ事情があつて、1年おきにしかハムフェアを見学していないが、見学のたびに変化がある。今回特に気になったのは、昨年まで3日の開催だったのが、2日になったことと、JAI Aのメーカーが11社に減り、出展が3社のみということであった。もちろん他のメーカーや販売店も、出展を減らしている。ハム人口が減少したのだからやむを得ない事とは思いますが、寂しい気がしてならなかった。できる事なら来年も見学して、浦島太郎にならないようにしたいものだと思っている。

後日写真を整理したら、赤目防止のストロボ発光のために、案の定NGなものが何枚もあった。しかしハムフェアの雰囲気は、充分伝わって来るものだったので、ホッとした。

秋の移動

de JG4BCG

定刻に倉敷市役所を出発して、平松・若林宅を経由して片島にて最終待ち合わせの方達を載せて玉島ICから山陽自動車道・広島自動車道・浜田道を経て浜田ICで下り9号線を東進し目的のアクアス水族館に到着したのが11時頃でした。



団体で入るには15名では少し足りないので、1500円成りを払い中にはいることになった。アシカ・イルカショーが、12時からと12時30分にあるので、それを見てから食事にすることを決めてそれまでは水族館内を見て回ることにした。深海魚やらまた色とりどりの綺麗な珍しいクラゲがいて感動しました。イルカショーの始まる時間になったのでイルカショーの会場に行くともうすでに多くの人垣が出来ていました。何とか横の方から見る事が出来ました。イルカとアシカの違いについて説明

1. イルカは腹を上げて歩行出来るがアシカは腹這いでしか移動できない
(いずれも陸に上がったとき)
2. 耳についてはイルカは耳たぶがあるがアシカには無い
3. 泳ぎ方の違いではイルカは手の部分で鳥が羽ばたくように上下に動かして泳ぐ
がイルカは後ろ足で魚のひれのように横に振って泳ぐ

以上の3点の違いで見分けるのだそうです。いろいろの芸を見せてくれましたがまだ覚え立てで時には失敗もあったけどこれも芸の内かな・・・次に白イルカのショーですがこれは水中での芸であり綺麗な女性のダイバーさんが水槽の中でイルカに手振りでいろんな事を見せてくれました。

昼食はそれぞれ取ってから水族館を後にして、福岡さんお勤めの畳が浦に寄りました。バスを駐車場に入れると、ボランティアのガイドさんが案内をしましょうかと



と行ってくれましたので、案内を頼んで案内をして貰いました。目の前にそびえ立つ小高い丘は1600万年前に隆起して出来た物らしい。一つ一つ見ると岩が今にも落ちてきそうな感じですが、もう全体が岩のなっていて落ちないのでそうです。その丘のトンネルを過ぎると日本海の方に出ました海岸ぶちが畳を敷いたように割れ目が縦横に走っている事から畳が浦の名が付いたらしい。さらに海岸の方に出ると風が強く頭の髪は乱れるし顔から手の出ているところに風に飛ばされた砂が当たり痛いし口の中は砂でジャリジャリしだすのでここまでと先に行くことをまたの機会に残して引き上げてきました。美しいガイドさんに別れを行ってから、魚市場に寄ってから帰りました。無事19時頃に来倉しました。

◆お知らせ

- ★ 8月のパソコン教室は8月18日に、9月は9月29日に、JA4BLO 出羽さんのお世話を頂き川入会館にて開催しました。
- ★ 10月のパソコン教室は、10月27日(日)09時00分～ 場所は川入会館。
- ★ 11月のパソコン教室は、11月17日(日)09時00分～ 場所は川入会館。
- ★ 12月のパソコン教室は、12月 1日(日)09時00分～ 場所は同じく川入会館を予定しています。

(変更ある場合は、毎週土曜日21時からのミーティングでその都度連絡します)

- ◎ 【現在、毎週金曜日21時から土曜日と同じ時間帯、同じ周波数でQSOしています
多数のご参加を!! お待ちしています。】

—以上—

お知らせ

◎アマチュア無線技士国家試験

第1・2級アマチュア無線技士

試験地 大阪市、広島市、松山市

2002年12月1日(日) 1アマ

8日(日) 1アマ 点字の試験に限る。

2アマ 点字の試験を含む。

無線工学 →0930

電気通信術→1300

法 規 →1330

第3・4級アマチュア無線技士

受験地 大阪 2002年12月1日(日)

広島 ありません

松山 ありません

申請書の受付期間は、10月1日(火)～21日(月)消印有効です。